

全日本語りネットワーク

2009. 2. 15 発行

〒376-0045 群馬県桐生市末広町 5-19
桐生市市民活動推進センター 内
(Fax) 0277-47-4066 (振替) 00130 - 2 - 114808
(E-mail) welcome@japankatarinet.jp
(HP) <http://japankatarinet.jp/>

ニュース

今秋「石の里・大谷」での“語り”に夢がふくらみます！

NPO 法人大谷石研究会
副理事長 塩田 潔

大谷石の産地で知られている栃木県大谷町は、JR 宇都宮駅から西へ約 8 km の所にあり、今も採掘をしている景観の美しい名勝地です。フランク・ロイド・ライトの設計による旧帝国ホテルに使われたことはあまりにも有名です。(一部が愛知県の名古屋市に復元保存)

宇都宮の街なかにも松ヶ峰教会をはじめ、聖ヨハネ教会や石蔵等数多くの大谷石建築が残っています。レストラン・カフェやギャラリーに活用されている石蔵が結構あります。大谷町には、岩肌に彫られている摩崖仏が国の重要文化財に指定されている大谷寺、岩盤を彫って作った高さ約 27m ほどの平和観音像、古代ローマ遺跡を思わせる巨大な地下採掘場跡の大谷資料館等があります。それに今回、“語り”の場となる屏風岩渡辺家、渡辺恵美子家、大久保家はそれぞれに大谷を代表する旧家です。屏風岩渡辺家は、大谷の入口のランドマークになっている石蔵（西蔵と東蔵）が最近県の有形文化財に指定されました。

両蔵の間の石段を上り、冠木門を潜るとどっしりとした玄関構えの瓦葺の母屋が“語り”の場です。屏風岩という屋号が示す通り大きな岩盤がつくる庭園は、語りのロケーションとして最高です。屏風岩渡辺家から少し奥まった所に渡辺恵美子家があります。茶畑に沿って行くと両側に石蔵、長い石塀、そして幕末の一揆の襲撃跡が残る石屋根の薬医門を潜ると、今もしっかりと維持管理されている茅葺屋根の母屋が屋敷林に囲まれ、訪れる人を暖かく迎えてくれます。当主の恵美子さんは機織りをされており、工房では多くのお弟子さんを日々指導されています。11月はちょうど庭園のもみじの紅葉がすばらしい時期で、縁側越しに見る光景はきっと、独特の“語りの空間”を演出してくれると思います。もう一つの大久保家は、入口に岩盤を削り貫いた石室（離れ部屋）があります。“語り”の場となる母屋は、今も昔と変わらない土間のタタキ、上を見上げると黒々とした大きな梁が交叉し、炉のある広々とした板の間、一段上がった格子戸の向こうに茶の間、座敷と続いています。耳を澄ませばもう、“語り部”の声が聴こえてくるようです。

大谷には、まだまだ素晴らしいところがたくさんあります。どうか、“語り”を通じて「大谷」を十分に体感していただきたいと思います。

私たち大谷石研究会では、「大谷石」を、「大谷石建築」を、「大谷の街」をブランドとしてさらに魅力あるものにしようと様々な企画をし、運動を展開しています。

今回、“語りの小祭り”の会場として選んでいただきましたことに感謝申し上げますと共に、皆様に満足していただけるような演出をお手伝いできるよう頑張りたいと思います。

私たち一同、楽しみにお待ちしております。